



復刊とウェブサービス開始のご案内

令和8年
初夏復刊
以降年4回刊行

茶の湯と日本の文化を発信する

『茶道雑誌』

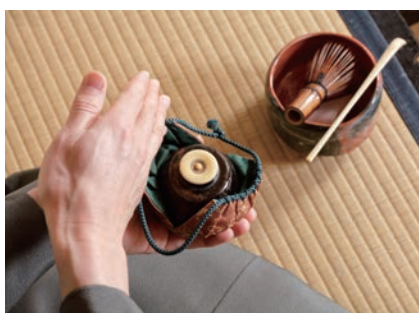
『茶道雑誌』は、昭和十二年（一九三七）、
河原書店より『和比』として創刊され、

昭和一九年に現在の『茶道雑誌』へと改題、

以来およそ九〇年にわたり月刊誌として刊行されてきました。

令和六年（二〇二四）、惜しまれながらも一旦休刊となりましたが、

このたび装いを新たに表千家同門会より復刊することとなりました。



誌面の特徴

河原書店版の月刊『茶道雑誌』で長く愛読いただいていた読みものを中心に、毎年テーマを設けて茶の湯文化をより深くご紹介します。復刊初年度は、「継承：受け継がれる茶の湯のこころ」「お茶会へ行こう——茶事・茶会でみるお茶のたのしみ」をテーマに、多彩な記事をお届けいたします。

行事・茶会記録と茶会記

家元行事をはじめ、各地の献茶式、表千家同門会支部の行事、伝統ある月釜や、茶の湯の未来を担う世代による催しなどの情報を、会記とあわせて掲載します。茶会記は茶道における大切な史料であり、道具組の参考としてもお使いいただけます。

茶道講座

表千家流茶道のお点前をコマ撮りの写真で丁寧に分かりやすくお伝えします。不審菴監修の茶道講座をご覧ください。いただけるのは『茶道雑誌』ならではのです。時季に合った設えでお点前を解説いたします。

より自由に、より身近に

令和8年、『茶道雑誌』は従来の枠組みを越え、季刊版冊子と連動したウェブサービスの提供を始めます。

季刊版『茶道雑誌』

年に4回、紙媒体の雑誌を刊行してお手元にお届けします。月刊『茶道雑誌』から受け継いだ誌面構成をベースに、さまざまな情報を掲載してゆきます。

ウェブサービス 月刊ウェブ版『茶道雑誌』

月に1回、「茶道講座」「茶会記」などの記事をウェブマガジンの形式でお届けします。スマートフォンやタブレット、パソコンで、いつでもどこでも気軽にお読みいただけます。



茶道講座

ウェブ版『茶道雑誌』では、新たに配信する講座とともに、バックナンバーから配信する折々のお点前もご覧いただけます。

※誌面画像はイメージです



茶会記

各地の茶会記や月釜情報は、ウェブ版『茶道雑誌』で毎月いち早くご紹介します。

※誌面画像はイメージです

「茶道雑誌メンバーズ」(仮称)へのご登録は、『茶道雑誌』ホームページから、いつでも承っております。詳しくは下の二次元コードよりホームページをご確認ください。



茶道雑誌ホームページ

『茶道雑誌』に関するお問合せ・ご相談先

表千家北山会館

〒603-8054 京都市北区上賀茂桜井町61番地
TEL 075-724-8000
FAX 075-724-8007

ご購入のご案内

『茶道雑誌』は、季刊版とウェブサービスがセットになった年間購読方式の雑誌です。ただいま購読のご予約をいただきますと、サービス開始時にいち早く『茶道雑誌』をお楽しみいただけます。

まずは『茶道雑誌』ホームページのフォームから「茶道雑誌メンバーズ」(仮称)にご登録ください。

ご登録の際に、お名前、ご住所(季刊版送付先)とメールアドレス(ログインID)のご入力が必要です。

ご入力後に年間購読料9,600円(送料無料で)をお納めいただき、ご登録完了となります。

※事前にご登録された方は、ウェブサービス開始後すぐに月刊ウェブ版『茶道雑誌』をお読みいただけます。

※年間購読は4月から翌年3月末まで、12か月のサービスとなります。4月、5月のご登録をおすすめいたします。

※季刊版『茶道雑誌』は、令和8年初夏の復刊後、ご登録のご住所あてにお届けします。